

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(水窪小・中) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

子供の数が年々少なくなっていく現状の中で、効果的な学校での教育や行事を進め、水窪ならではの学校教育や適地教育が更に充実するよう、方策を考えていく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 学校運営に対する説明から、運営に対する熱意を感じた。学校運営の基本方針について理解し共有することができた。
- 小中学校の学校長、委員が学校運営を良くしていく為に努力されているのを感じた。過疎化の進む地域での運営の大変さや難しさ等、現状を理解することができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 学校運営に対しての協力体制がある程度できたと感じている。さらに協働して取り組めるよう努力していく。
- 協議会前の授業参観を通して、小学校・中学校の子供たちの様子や具体的な教育活動の内容がわかり、課題を理解した上で、熟議に臨むことができた。
- 基本方針とかけ離れた支援ではなく、現実的な支援について話し合うことができた。
- さらに活発な熟議ができるよう、話し合いの持ち方を工夫していく。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 委員では共有できているが、守秘義務もあり、情報発信は積極的に行っていない。
- 会議録についてもホームページにアップしているが、もっとPRしていく必要がある。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

子供の数が年々少なくなっていく現状の中で、効果的な学校での教育や行事を進め、水窪ならではの学校教育や適地教育が更に充実するよう、方策を考えていく。
水窪に住む若年層への参加の働きかけ等、情報発信の方法を工夫していく。